The best relationship

～最高の仲間たち～

第一学年通信No23



『防災』について考えてみようⅢ　防災学習ワークシートより

（非常持ち出し袋について）班で話し合ったときに意見がバラバラでした。先生がおっしゃったように、人それぞれ必要な物が違うから、バラバラだったと思いました。【通帳】や【家族の写真】など必要であるか，ないか，で悩んだけれど、荷物が重いと持ち運びが大変なので最小限の荷物にしました。
今日と前の授業で学んだことを、
もし災害がおきたときに活かそうと思いました。



【家族の写真】は、探したりするのに使えるし、
もし、その家族が一人でも亡くなっていたら、思い出があるから大事だと思いました。こういうことをしっかり考えて生きていけるようにしたいです。

今日の学習で、いろいろな状況を想定して必要なものと必要でないものを優先順位を決めて考えることができました。何か条件を決めて考えることが大切なんだなあと思いました。
班やクラスで意見を交流したことで、考え方の幅が増えたと思いました。

防災メモ…家族みんなで災害の備えを確認しましょう。

□ 避難場所、避難経路



わが家の避難場所

家族が離ればなれになったときの集合場所

避難経路の危険箇所

□ 防災用品や医療品の置き場所と使い方

□ 非常持ち出し品　（備蓄の目安は３日から７日分）

□ 懐中電灯	（□ 電池）	□ 現金・貴重品	
□ ろうそく	（□ マッチ）	□ 衣類（雨ガッパ、軍手、下着等）	
□ 携帯ラジオ	（□ 電池）	□ 携帯トイレ	
□ 水（1人1日3リットル）		□ ハザードマップ	
□ 食料品（インスタント食品、缶詰、レトルト食品など）		□ 医療品（救急用品、常備薬）	

□ 家族との連絡方法　□ 災害時の行動と役割

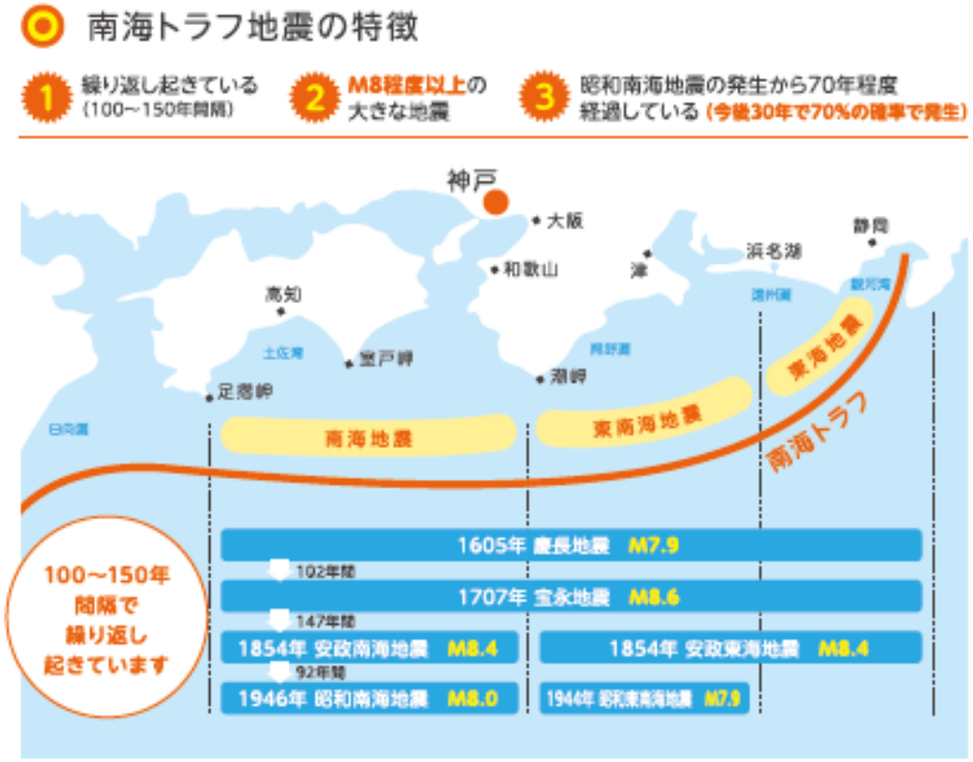
家族の名前	勤務先・学校の名前	電話番号 メールアドレスなど	災害時の行動と役割分担 （火の始末、非常持ち出し品搬出）

明石市災害ハザードマップより

南海トラフ地震とは？

＊トラフ(trough)…　細長い海底盆地で、深さが 6000m より浅いもの。舟状海盆。
深さ 6000m を超えるものは海溝という。

＊**南海トラフ**は、四国の南の海底にある水深 4000m 級の深い溝のこと。
非常に活発で大規模な地震発生帯である。



南海トラフ地震には2つのレベルがあります



レベル1

100年に1度程度発生してきたM8クラスの地震

→ **被害抑止策**　被害を防いでいきます。

人命の保護に加え、財産の保護、地域経済活動の安定化等の観点から、防潮堤の整備や、閉鎖体制の確立などを行います。



レベル2

1000年に1度かそれ以下の発生確率であるM9クラスの地震

→ **被害軽減策**　被害を少なくしていきます。

人命を守ることを最優先とし、避難を軸としたソフト対策とハード対策を組み合わせた総合的な津波対策を推進します。

ソフト対策…避難計画の作成・支援など

ハード対策…防潮施設の粘り強い構造への補強など